

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧東京音楽学校奏楽堂改修				所管	文化産業観光部 文化振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	51	計画事業名	旧東京音楽学校奏楽堂の保全					事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (1)文化の継承と発展 [施 策] ①地域文化の保存と継承							[事業開始]	
									[終了予定]	平成30年度
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	重文 旧東京音楽学校奏楽堂修理委員会設置要綱						
	事業対象	区民及び一般								
	事業目的	重要文化財である旧東京音楽学校奏楽堂を今後も「生きた文化財」として活用するために保存活用工事を行い、奏楽堂の文化財的価値を保存し後世へ継承していく。								
	事業内容	平成24年度 耐震診断調査及び現況調査 平成25～26年度 保存活用計画及び工事基本計画の策定 平成27年度 保存活用工事実施(建築工事) 平成28年度 保存活用工事実施(建築、設備工事)及びリニューアルオープンに向けた準備・検討 平成29年度 保存活用工事実施(建築、設備、環境整備工事)及びリニューアルオープンに向けた準備・検討 平成30年度 保存活用工事実施(建築、設備、環境整備工事)及びリニューアルオープン(秋頃予定)								
	委託の有無	一部委託	委託内容	・保存活用工事設計監理業務委託(建築工事・設備工事) ・パイプオルガン修理委託						
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度			
	活動指標	保存活用工事(建築)出来高率	%	100	-	1.0	53.0	計画策定	設計・工事	
	成果指標								工事	
	決算額	(単位:千円)				33,617	13,535	143,531		
	事務事業コスト	(単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			7,651	7,619	5,796		
			物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			33,377	11,182	32,983		
			その他のコスト(扶助費・補助費など)			240	2,354	110,548		
			総経費			41,268	21,155	149,327		
	財源項目	(単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
			その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			3,736	4,572	58,890		
一般財源(区負担額)			37,532	16,583	90,437					
前回評価から改善した事項	平成27年度から建築工事を引き続き実施し、平成28年5月からは設備工事に着手した。また、文化財修理や奏楽堂について広く周知するため、工事見学会を実施し、多くの区民及び一般やメディアにお越しいただいた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	奏楽堂は経年劣化し十分な耐震性能を満たしておらず、今後も「生きた文化財」として保存・活用するには保存活用工事が必要である。区立の文化施設であることから本事業を区が直接実施する必要がある。							
	効率性	3	本事業は、平成26年度までに策定した保存活用計画と工事基本計画に基づいて工事を進めており、また、国、都からの補助金を最大限に活用しながら効率的に実施している。							
	手段の適切性	4	重要文化財建造物としての価値を維持していくため、学識経験者や専門家からなる「重文旧東京音楽学校奏楽堂修理委員会」を設置し、保存活用計画及び工事基本計画に基づき事業を適切に実施している。							
	目的達成度	3	工事過程において外壁を解体したところ、新たに破損箇所などが発見されたため、追加工事及び3ヶ月の工期延長の必要が生じたが、その他においては計画通り工事を進めることができた。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
奏楽堂の文化財的価値を後世へ継承していくために、昨年度から引き続き建築工事を実施し、平成28年5月からは設備工事に着手した。今後は平成30年秋のリニューアルオープンに向け、計画的に工事を進めていく。							維持			